

や市教委によると、10月をめ
どに建設を始め、本年度内の
完成を目指す。

ロボットコンテスト「WRO」

松本秀峰2年生 長野大会V

茅野市で8月に開かれたロボ
ットコンテスト「WRO(ワ
ールド・ロボット・オリンピ
アード) Japan 201
7長野大会」中学生部門で、
松本市の松本秀峰中等教育学
校2年の山本遼さん(14)、百
瀬公多朗さん(13)、小林幸太
郎さん(13)の3人が優勝し
た。

WROは技術者育成に取り
組むNPO法人(東京)主催。
センサーを搭載した自走式の
車型ロボットを使い、床のラ



インに沿って走らせたり、色
を識別してブロックを指定の
場所に運んだりしてプログラ
ミング技術を競う。長野大会
中学生部門には同校の他の5

チームを含む11チームが参加
し、唯一満点を獲得した。

3人はプログラミング経験
はほとんどなく、同校教諭の
瀬川伸さん(40)の手ほどきで
一から勉強。試作したロボッ
トを動かす、プログラムのミ
スをその都度見つけ出しなが
ら精度を高めてきた。「速さ
よりも正確さ」を重視したロ
ボットを目標にしたという。

小林さんは長野大会を「不
安な点もあったが本番でうま
く動いてくれて良かった」と
振り返り、百瀬さんは「全国
大会では速度も大事。大会ま
でに改良したい」。山本さ
んは「全国大会でも優勝を
狙いたい」と目標を掲げてい
た。

自作のロボットを手に話す
(左から)小林さん、百瀬さん、
山本さん